

夏休み親子農業教室

都市農業支援事業の取組として昨年から開催している親子農業教室。今年も夏休みを迎えたたくさんの親子づれが農家の皆さんから農業について楽しく学びました。

北部コース

(賀茂なす・鷹峯とうがらし)



ぴかぴかの賀茂なすを収穫

北部コースは、賀茂なす産地である上賀茂で22名の参加者が集い開催されました。参加者は、まず賀茂なす・鷹峯とうがらしの収穫作業を体験。子供達は「賀茂なすは、どんな色や形のが美味しいの?」「鷹峯とうがらしは、赤色と緑色どっちがいいの?」など、農家の先生を質問攻め!!先生からのアドバイスを参考に、ぴかぴかの新鮮な野菜を収穫しました。

次の「親子de農業クイズ」では、賀茂なすと鷹峯とうがらしにちなんだ難問・珍問の数々に参加者は悪戦苦闘!!最後の「収穫野菜の調理&試食」では、子供達が自分の手で収穫・調理した野菜を口いっぱいにはおぼり、満面の笑顔を浮かべていました。

西部コース

(京あかね・キャベツ)



西部コースは南区吉祥院にて、新京野菜の小型トマト「京あかね」と特産のキャベツをテーマに開催されました。

農家から「京あかね」の栽培方法や病害虫などの説明を聞き、親子でトマトの学習をした後、赤く完熟した「京あかね」の収穫や、キャベツの定植機の見学、苗の植付けを体験しました。

体験後は、収穫した「京あかね」と地元のお好み焼きをたっぷり使って調理した「京あかね」の甘さに驚き、香り高く甘みのある九条ねぎに食が進んでいました。

15人の参加者たちは終了後も熱心に質問するなど、より農業に興味を持たれたようです。



トマトの葉をじっくり観察

東部コース

(キュウリ・孟宗畑整備と竹細工)



東部コースは、伏見区深草のキュウリ畑と、現在ボランティアによる整備の進む孟宗畑において開催されました。

市内の小学4〜6年生の

親子づれ15人が参加し、午前中は収穫の終わった孟宗畑の除草作業、昼食に食べるそうめん用の器を作る竹細工、キュウリの収穫体験を実施しました。午後からは、地元農家の指導に従い、けん玉等の竹細工に熱心に取組んでいました。お土産にくわがた虫のプレゼントもあり、子ども達には盛りだくさんな一日となりました。

各コースとも、参加者から「貴重な体験ができた」という喜びの声がたくさん寄せられました。



竹細工に取り組む親子